

会 議 録

1. 会議名

第1回仙北地域協議会

2. 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域枠予算について（公開）

(2) その他（公開）

平成18年度仙北地域主要な事業について
自治会支援補助金制度について
地域協議会とこれからの地域活動について

3. 開催日時

平成18年6月13日（火）午後7時より

4. 開催場所

仙北庁舎中会議室

5. 傍聴人の数

1人

6. 出席したものの氏名

委員：池田佐喜男、熊谷政子、黒澤三郎、小林千歳、小松田有佳、小柳都
佐々木忠雄、佐藤力哉、進藤豊和、進藤勇吉、竹村正資、千葉嗣助
戸澤龍悦、原松男、茂木保治

（委員15名の出席、欠席3名）

仙北総合支所：根本支所長、佐藤建設課長、鈴木農林振興課長、藤原市民課長
竹村市民課参事、小松教育分室長、高橋地域振興課長
熊谷地域政策考査員、健康増進センター仙北分室塩谷主幹
地域振興課田口副主幹、同池田主事、同熊谷主事

7. 発言内容

熊谷考査員

【開会】

第1回仙北地域協議会の開会を宣告

会 長

【会長あいさつ】

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今回は平成18年度第1回と言うことですが、案件が地域枠についての協議についてでございます。協議会委員の意見をたくさんいただきたいと思いますので、活発なご意見の方をお願いしたいと思います。

支所長

【支所長あいさつ】

合併してから1年3ヶ月なるわけですが、みなさん広報等でご承知のことかと思いますが4月から大仙市の機構が一部見直され、大曲総合支所を本庁に統合し、各総合支所を6課体制から4課体制に変更いたしました。総務課を地域振興課に、税務課を市民課に統合して、土木課の名称を建設課に変更しております。また、各支所に置いていました教育委員会分室を公民館に移し、事務所を統合しております。仙北総合支所におきましては1階に市民課・東部農業委員会、2階に地域振興課・建設課・農林振興課、3階に文化財保護課・介護保険事務所が、ふれあい文化センター内に教育委員会分室の体制になってスタートおります。

また、今月8日から26日までの日程で市議会も開会しておりますが、今回から本会議の様子を市民ホールにありますテレビで映像配信しておりますので、気軽に議会を見られるようになりました。

6月の補正予算における仙北地域の主要事業についてですが、野球場のメインスタンドの改修工事でございますが、当初若干予算がついておりましたが、1,600万円ほど増額していただいております。国体に向けてあまり恥ずかしくない状況に整備したいと思います。それから豪雪被害施設、これはビニールハウス等でございますが、豪雪によりまして被害を受けたものの普及のための資金借り入れ利子補給金の助成としまして少ないですが33,000円ほど、それから市道仙北34号線(板見内寺村地区)の舗装工事としまして800万円、仙北南地区簡易水道統合整備事業が主なものとして予算計上されております。

4月以降の事業としましてこれまでに完成したものでありますが、仙北45号線(タニタ秋田前の道路)が完成しており、同じく藍野橋もできてございます。仙北22号線(池田家の前の道路)の道路改良や、八景橋の高欄設置工事も完成しております。

今年度の仙北地域の主な事業につきましては、あとで詳しく説明いたしますが、その他の事業といたしまして県の事業で県道の通称板見内線の本郷地域の改良工事、県道大曲田沢湖線の高梨字米打橋付近の

融雪溝工事も予定されております。

大仙市としましては非常に財政事情が厳しい状況でございますが、住民要望等も承りながらいろいろ創意工夫をしながら、課題をひとつひとつ解決に向けて頑張っ参りたいと考えておりますので、みなさんのなお一層のお力添えをお願い申し上げたいと思っております。

最後になりましたが、みなさん健康には十分ご留意なされて地域のためにますます活躍をお願いしたいと思います。今年度もどうかよろしくご指導ご協力の程をお願い申し上げます。

熊谷考査員

【4月1日異動に伴う職員の紹介】

今回の協議会は委員の2分の1以上が出席しておりますので会議は成立いたしますことを報告いたします。なお、池田武委員、佐藤昇委員、大澤隆夫委員より欠席の連絡がありました。

それでは、会長より会議録署名委員の指名、議事の進行をよろしくお願ひします。

会 長

今回の会議録署名人は戸澤龍悦委員、熊谷政子委員にお願いいたします。それでは、議事に入りたいと思います。地域枠予算について、事務局より説明お願いいたします。

田口副主幹

【地域枠予算について資料により説明】

会 長

事務局から地域枠予算について説明していただきましたが、運用イメージでは、実施類型は市が主体、は地域団体と市が協働して行う、は地域団体が行うということです。

それでは、地域枠予算事業説明の1の「てんこもり！史跡の里の秋まつり」からひとつづつ皆さんから意見等を伺いたいと思います。この事業は秋の文化祭に該当するということでしたが、ご意見お願ひします。

何かありませんか。

竹村委員

去年公民館まつりとして行ったのと、同じような感じでしょうか。

田口副主幹

公民館まつりと合わせて開催するということです。

熊谷委員

初歩的な質問ですが、よろしいでしょうか。検討委員会で検討されたということですが、時期的なものまで検討されているのでしょうか。

田口副主幹	開催時期につきましては、協議会と市長から承認いただかないと実施できませんが、こちらでは考えております。
熊谷委員	わかりました。それでは 1 に戻りますが、去年であれば各公民館のまつりと大仙市の秋まつりが一緒になったと思います。両方見たいのに同じ日に重なってしまうのは困るのですが、今年も大仙市としてはあるのでしょうか。
熊谷審査員	大仙市の秋まつりとしましては大曲地域で開催されますが、仙北地域で開催する秋まつりにつきましては、日にち等十分検討しながら開催時期を決めたいと思います。
会 長	開催時期につきましては各地域毎に違うと思いますが、重ならないように計画を立てていただければと思います。 他に何かありませんか。
池田(佐)委員	それぞれの町で行っていたものが、大仙市に合併になりましたので、大仙市として大きな事業で行うという話があったと思うのですが、やはり大仙市として大きな事業を行い、各地域ではこじんまりした形で行うということですか。
熊谷審査員	大仙市として行っておりますが、実質こちらの地域で参加しているものといえば出店等に限られております。 仙北地域としましては、各種団体が自分たちが勉強してきたことを発表できる場がなくなってきたという声もあり、その場を提供したいと思ひまして、地域の特性を持った秋まつりを行っていきたいと考えております。
池田(佐)委員	やはり秋まつりは交換会前に行う所が多いので、時期がかぶってしまうと思いますが。
熊谷審査員	大仙市の秋まつりは 10 月の最終土日の予定で進んでいますので、一緒にならないように計画したいと思います。
進藤(豊)委員	去年は公民館まつりと体育祭を一緒に開催してもらいました。今年も予定としては合わせて開催していただくことで話が進んでおります。プラス秋まつりとなるとと思いますので、関係機関とよく調整してもらいたい。日程についてはほぼ決まっていると思いますが、去年は雨が降ったため、ふれあいホールを貸してもらってムカデ競争だけ行いました。もしステージ発表があるとすれば、体育祭の方もどのように

切り替えしていくのが合わせて協議してもらいたい。

熊谷考査員

市の事業担当課が必要になるわけですが、予算は地域振興課にあるわけですが事業の実施にあたっては教育委員会にお願いする形で進んでおりますので、よろしくをお願いします。

佐々木委員

芸文協の総会の際、公民館側から 10/14、10/15 に開催したいと申し入れがありました。公民館まつりと合わせて開催するという事は、この日で決定ということでもいいでしょうか。

小松分室長

おっしゃったように 10/14、10/15 で予定しております。14 日は例年の自衛隊コンサートがありますので、考慮しながら日にちを決めたつもりでございます。決定ではありませんが、このような予定で進んでおります。

会 長

ありがとうございます。10/14、10/15 が公民館まつりだそうです。よろしいでしょうか。他に 1 について何かありませんか。

それでは、2 に移りたいと思います。払田柵までの案内板がうまく完備されていないという意見があったということであげられていると思いますが、ご意見ありませんか。

池田(佐)委員

大変良いことだと思います。私たちも払田柵の案内に携わっておりますと、バスで来るのであれば運転手がわかっているのでもいいと思いますが、個人で来る場合はあちこち回ってくるような状況です。一番分かりやすいのは小学生が作った案内板のようです。払田柵に来た人たちもアンケートで案内板を増やして欲しいという要望がありました。私も迷わないでまっすぐ来てもらえるようにしていただきたいと思いますので、大賛成です。

小林委員

案内板はどの辺りから設置を考えていますか。私が知っているのは角館から来る場所だと思いますが、一番遠いところは何処にたてるのでしょうか。県南主体のスタンプラリーというのが始まるのですが、遠くから来られる方もいると思ひまして。

熊谷委員

この説明書では、仙北地域内ということですよ。

田口副主幹

仙北地域内と書いておりますが、もう少し広い地域を考えております。

熊谷考査員

どうしてこの話が出てきたかと言いますと、主要道路からの払田柵

跡までがわからないということが多いわけです。そのようなことからすると、主要道路・幹線道路からの降り口から設置するのがいいかと考えております。

会 長

私も仙南方面から払田へどのように行くのかと聞かれたこともありますので、大変良いことだと思います。こちらについては、よろしいでしょうか。

次に 3に移ります。これは、彩夏せんぼくの中の事業という考え方だそうですが、これについてご意見ありませんか。

茂木委員

これは会長が言ったように、彩夏と一緒にという考えでいいのでしょうか、単独でやることでしょうか。

田口副主幹

彩夏と一緒に行くことです。

池田(佐)委員

メインとしては平安行列、舞台での芸能、花火というのがありましたけれど、内訳を見ますとこのようなものには補助が該当してありませんが、内容としては今まで通り行うのでしょうか。

熊谷考査員

今まで史跡の里づくり委員会にお願いしていましたが、今年も引き続きお願いしております。委員会の予算も年々少なくなっており、仙北地域としては払田柵をPRする絶好のチャンスでありますので、独自に舞台部分につきましては市で観光PRをするために行いたい考えです。その他の彩夏の事業につきましては、例年通り委員会にお願いする考えです。

池田(佐)委員

全体ではなく一部に対する補助という考えでよろしいですね。

熊谷考査員

夏祭りは今までどうり実行委員会で行うわけですが、その中一つの事業を市が主体となって行うということですか。

黒澤委員

この名称ですが「それっ行け仙北！」となっておりますが、仙北地域の仙北であればいいのですが、大仙市になったのに仙北ということでしょうか。仙北市もできたのでまぎらわしくないでしょうか。

茂木委員

一つの商標みたいなものなので、コロコロ変えられるのは困ると思います。

会 長

パンフレットがあるとすれば、例年まではカラオケ等のステージがあるわけですが、その部分が「それっ行け仙北！」になることですね。

熊谷考査員	事業説明の中で「それっ行け仙北！」となっていますが、あくまでも事業名なので再度検討しながら適切な名前をつけたいと思いますので、いい案がありましたらお願いしたいと思います。
茂木委員	隣に仙北市があるので、私たち地域の人はいいいのですが他から来る人は旧仙北町なのか仙北市なのかわからないのではないですか。
進藤(豊)委員	予算の名称であって、表に出るものではないからいいのではないですか。
池田(佐)委員	彩夏せんぼくにしても、「せんぼく」というのが、今までこの地域だけだったものが別にもあるからと言うことですよ。
会 長	ただ、こちらの方が「せんぼく」の歴史は古いので、堂々と彩夏せんぼくで言っていると思うのですが。あとから「仙北市」とつけたので直す必要はないと思います。
佐々木委員	彩夏せんぼくの中で「それっ行け！仙北歌まつり」なので、問題はないと思います。
原委員	これは、ステージ用のネーミングでいいのではないですか。
会 長	それでは、これによろしいですか。では、皆さんの了承をもらったということで 3については終わります。 次に、4の花いっぱい事業について、環境整備をしながらわか杉国体にむけて事業を行うものですが、これについてご意見をお願いします。千葉委員、ご意見ありますか。
千葉委員	この話とは少し違うのですが、当初地域枠予算は地域の活力を求め、住民の意見を取り入れてという大きなテーマを持って行くと理解していたのですが、この間の公民館の説明でも先ほど出ましたが公民館まつりは行くと、それに乗っていくということになりますと、大枠はどこかで決められていると、地域協議会の活力そのものが下請けになるのか二番煎じになるのか、理解しにくいことがあるわけで、この花の関係についてもその様な立場で見ている状況です。 この花いっぱい事業につきましても公民館と準備はしていますが、枠ははめられてしまって、地域協議会の独自の活力のもとになるという根本的なところが若干ずれてるように思います。 具体的にいえば、公民館まつりにつきましてもずっと継続するとな

ると来年度以降も二本立ての予算でいくのかどうか。今年と同じようにあらゆる事業が、お盆から秋に集中してくるのではないかと考えますが。

会 長

千葉委員の貴重な意見はありがたいのですが、あとの方に回してもらってもいいでしょうか。

進藤(勇)委員

国体に向けてとありますが、国体が終わればこの事業は終わりでしょうか。継続事業と考えているのでしょうか。

熊谷考査員

国体をきっかけに花いっぱい事業を行い、国体終了後も皆さまの協力が得られるのであれば、地域枠予算の中でできる限りの予算措置をしながら地域美化に対応していきたいと思っています。

進藤(勇)委員

この間仙北市西木町へ行って来たのですが、あちらは除草が終了し移植準備にとりかかって状態でした。少し時期が遅いのではないのでしょうか。

会 長

隣の太田地域では、農免道路沿いにマリーゴールドなど植えておりますが、大仙市になったので他の地域と連携も考えていってもいいと思います。

千葉委員

国体がらみの花いっぱい運動ということですが、私たちが前から継続している花いっぱいとは二本立てでお願いしたいと私は要請しています。国体が終わったらこの事業も終わりということがないようにしていただきたい。また、美郷町の千屋地区では各家庭に依頼してやっているようです。また、上払田地区では美郷と連動する工夫をしなければと考えております。

花の個数は 1,000 個くらいになるかとは思いますが、その数では 4.9 kmには格好つかないと思います。来年の本番に向けてどのようにしていくのかと、今年は相当きめの細かい計画を立てなければいけないと思います。

また、西木のように県営補助が入っているところと違って道路を掘ってやることはできないでしょう。あと、バラツと並べるのではなく要所要所にやる方法もあるでしょうが、皆さんの意見を頂戴しながら取り組んで行きたいと思っています。

会 長

国体が終了しても花いっぴいを輩出するといういいことだと思しますので、継続していければいいと思います。

他にありますか。ないようですので、4については終わりたいと

思います。よろしいですね。

次の 5 の子ども見守り隊への支援です。熊谷副会長からご意見あったと思いますが、これについて皆さんのご意見をお願いします。

千葉委員

5月18日に会合がありまして、県庁から担当者が二人来て藤里町の事件があった次の日だったものですから、600万円の県補助を19日で締め切ると、ただその頃から県の方で6月議会に追加予算を出すという説明してました。直接関係はありませんが、ただ補助金の補助金というのがありますので。担当者の説明では老人クラブでも良いし、婦人会でも良いし町内会でも良いと、説明しております。ここでは、一本でやっているということですが、各学区ごとに分けたということでしたので、できれば事務局が県に申請して取り組んでいただきたいと思ってました。直接は関係ありませんが、熊谷さんと相談しておりました。

会 長

窓口がいろいろあるので頑張ってもらえるのであれば充実させるのは素晴らしいことだと思います。

千葉委員

3月の協議会の際に市独自の予算があると教育委員会の後藤分室長から説明があったと思いますが、それと二重にいたのでなかなか具体化しにくかったですが、今回県の説明を聞いてはっきりわかりましたので。その市独自の予算はいきているのですね。

熊谷考査員

予算はあります。

熊谷委員

地域枠予算をつけていただいてありがとうございます。ジャンパーは今ライオンズクラブからいただきましたが、なるべく迅速に予算を運んでいただいて用意していただければありがたいと思います。

会 長

この事業は藤里の事件があったばかりですので、子どもを守るためには重要なことだと思います。他にありませんか。

次に進みます。6の交通安全協会の補助金についてです。

竹村委員

これを見ますと非常に少ない補助金であり、警察の方も合理化で横堀・高梨駐在が一本になっておりますが、交通安全会は別かれております。それぞれ春夏秋冬の運動があり、活動方針も違いますので、もう少し金額をあげてもらうことはできないでしょうか。

会 長

活動としてはどのようなことをしているのでしょうか。

竹村委員 それぞれの交差点に安全会員が立つのですが、北と南の安全会があり、一方は会員があまり出てこないで、もう一方はたくさんの会員がでてくると言う状況です。補助金についても若干の上乗せをお願いしたい。

会 長 もう少し補助金を上げて頂きたいと言うような意見がありますが、その点について上げられる要素はあるのでしょうか。

熊谷考査員 補助事業については、何らかの事業があって、補助金を交付するわけですが、当然補助申請のなかで、決算書なり予算書なりの提示が求められることとなります。補助金の上限の規定はある訳ですがけれども事業内容により補助金の額を上限以内でさだめるのは、問題ないと思います。

会 長 補助金を上げられると言うことはできると言うことですが、事業の内容によって決めていくべきものだと思いますけれども。

熊谷考査員 事業内容を、もう一度精査して地域協議会に諮ると言うこともできると思いますので、それでもいいと思います。

会 長 この交通安全会の補助金については、市の予算で対応していたが、今回からは地域枠予算での対応になるということですがそれでよろしいのですか。

熊谷考査員 本庁の財政課より、そのように報告があり、今回の対応にさせていただきます。

会 長 はい、解りました。そうすれば竹村委員どうでしょうか。もう一度検討するか、このままのでもいいのか。

竹村委員 希望として、お話したのですので、今回については宜しいと思います。

会 長 次回に持ち越すと言うこともできますが、今回のを削除し次回に提出しなくても宜しいですか。

竹村委員 宜しいと思います。

会 長 それでは、次にうつります。ナンバ - 7 にうつります。これは、地域づくり活動団体補助金と言うことで、今後でてくる、可

能性のある事業としての予算措置だそうです。

これについて、ご意見伺います。

戸沢委員

これについては、今の段階としては何も無いということですね。予定とかあるものですか。

会 長

この補助については、要綱がございますので、団体等が補助申請をして初めてでてくると言うことだろうと思います。

戸沢委員

なにか、予想されるものとかありますか。

熊谷考査員

去年の実績から申しますと、ボランティア団体と言うことで補助金10万円でしたけれども、上村のボランティア団体が補助を受けております。どのような事業かと言いますと、イベント関係です。まつりですけれども、団体が主体となって行った事業です。ことしも申請があると思われまます。この補助は、あくまでも単一の自治会ではなく、ボランティア団体や青年会、自治会の連合体が自主的に、このような事業をやりたいですよと言う団体への補助金となりますので宜しくお願いいたします。当然補助を受けるとすれば企画書なりの提出が必要となります。多くの団体から申請があることを願っております。

会 長

多くの申請があることを願っているということですので、そのような団体がいたら、大いにはたらきかけて頂きたいと思えます。ほかに何かありませんか。

小松田委員

どのような形で、このような補助金がありますよと言うことを知らせるのでしょうか。また、一定期間で募集して、その中から選ぶのか。

熊谷考査員

今回は2,400千円をお願いして、あとの2,600千円は予算化してない訳ですけれども、今後、どのような要望がでてくるか解りませんので、そのために全額を予算化していないと言う状況です。当然5,000千円の予算を消化してしまえば、あとの予算措置ができないわけですから、結果として次年度でお願いする様な形にならざるを得ないと考えています。今回のこの地域枠予算については、自治会の会長さんにも説明を申し上げているところです。その中で、やりたいと言う団体があったら、課の方へご相談して頂きたいということでお話をして進めているところです。委員の方々にも宜しくお願いいたしたいと思えます。

小松田委員	募集して行うと言うことではなくて、先着順のような形になるとうことでしょう。
熊谷考査員	結果として、今年度はそのような形になってしまいますが、要望が多くあった場合は、補助金の限度額が20万円となっておりますので、予算の範囲内で臨機応変に対応して参りたいと考えおります。
会 長	よろしいでしょうか。
小松田委員	はい、わかりました。
会 長	それ以外にありませんか。
池田委員	参考のために伺いますけれども、観光ボランティアと言う組織があるわけですけれども、このような団体もこれに該当するものでしょうか。
熊谷考査員	団体としては該当する訳ですけれども、補助金の関係で、すでに市の他の補助金を受けている団体については適用しませんと言うことになっております。市と団体が協働で行う事業であれば対応できるものと考えております。
池田委員	年々、予算が減額されている中で各団体とも非常に厳しい状況にありますので宜しくお願ひしたいと思ひます。
会 長	払田柵跡の方にも、年間5千人ぐらいは、おいでになろうかと思ひますので、ボランティアの方々には日曜日、平日に関係なく対応していただいております。また、払田柵跡は仙北地域を代表する観光地でございますので、ぜひ協力して参りたいと思ひます。
小柳委員	それに関してですが、かなりの見学者がいると思ひますが、お茶を飲む場所とか、食べる場所とかがあれば良いと言う話しがありましたが、そのような場所があればいいなと思ひますが。
会 長	その件に関してですけれども、私が聞いた話ですが、あの中に建物をたてると言うのは文化庁の許可がおりないと言うことで、払田部落の方々コンテナをつかって、商品の販売や休憩場所を提供していると聞いております。この件について解る方ありませんか。
佐藤建設課長	今までは、払田部落の方々にお願ひして、コンテナを使ってやって

おりましたが、市長が、このままではうまくないと言うことで、ガイダンスの隣りに建てて、ものを販売するようにとの指示がありまして、増築の設計をして、その中で販売をするようなかたちになろうかと思えます。

会 長

そうすると、ガイダンスの隣りと言うことになりますか。

熊谷考査員

今の話は、コンテナのことですか、弘田の売店会のことでしょうか。

会 長

そのことです。

熊谷考査員

それにつきましては、今文化財保護課で行っておりますが、今の話しがありましたのでお話をさせていただきます。今回6月の補正の中でガイダンスを増築して、売店の入るスペースを設けましようと言う話しがでたそうです。

6月の補正で予算要求をしたそうですけれども、結果として財源等の関係で今回は見送られたと言うことのようにです。ただもう一度検討すると言うことでした。来年度の予算では必ず話し合われることになると思えます。文化財保護課に確認いたしましたら今の現状はそのようなことだよと言うことでした。新年度にもう一度予算要求すると言うことですので、宜しく願いいたします。

会 長

基本的には柵内では、飲食は禁止ということですよ。

小林委員

この様な話しがでたので、ガイダンスの中で見学者に見せるテ - プがありますが、発掘が進んでいるので、いろいろなことが解ってきています。名称が変わったりもありますので、新たにテ - プの製作をしていただくとありがたいですが、出来たときから、まったく変わっていないのではないですか。

会 長

しばらく同じですね。ガイダンスはどここの管轄になるのですか。

熊谷考査員

文化財保護課です。

組織体系が別になっておりますので、地域協議会には参加しておりませんが、仙北地域の文化財に関するもので、地域枠予算でやっていただきたいと言う案がありました。それについて検討した訳ですけれども、提案された事業については本庁の予算でやるべきものではないか、事業そのものが明確性に乏しいなどの意見があり、再検討が必要だろうということで、今回の地域枠予算には計上しておりません。

小林委員 地域枠と言うものにこだわらなくて、払田柵跡をバックアップする
と言うような話があったので、どうなのか質問させていただきました。

池田委員 映像テ - プについては、これは地域枠予算で出来るようなものでは
ないと思いますが。

根本支所長 これは私の記憶ですが、以前に作ったテ - プは1本1千万円から3
千万円程度します。ですので、簡単には出来ませんので国の補助など
でやっつけていかなければならないと思います、この点につきましては文化財保護課に十分伝えますのでご了承願いたいと思います。

会 長 有り難うございました、ほかにありませんか。

小柳委員 柵の中でも、中学校のレクリエ - ションでグランドゴルフをやった
あと芝生でバーベキューをやったと思いますが、それは許可が必要で
すか。

熊谷考査員 原則としては、中で火を使用することはだめであると聞いていま
すが、確認いたしまして次回の協議会に報告いたしたいと思います。

小柳委員 中にはお茶会などしている人もいますが、その様なき場所を借り
たいとすればどのようにすれば宜しいでしょうか。

熊谷考査員 ガイダンスの届け出になると思いますが、火を使用することに問題
があると思いますので、それも含めて文化財保護課へ確認して次回の
協議会に報告いたしたいと思います。

会 長 有り難うございました。時間もせまっておりますので、議事の地域
枠予算について皆さんこれでよろしいですね。

【全員異議なし】

会 長 それでは、その他の平成18年度仙北地域主要事業について、事
務局より説明をお願いします。

【平成18年度仙北地域主要事業について資料に基づき各担当課長よ
り説明】

会 長 有り難うございました。予定していた時間がなくなりましたが、皆

様方の同意があれば延長してまいりたいと思いますが、いかがでしょうか。

【全員賛成】

会 長 では続いて、その他の自治会育成支援補助金制度について事務局より説明願います。

熊谷考査員 【自治会育成支援補助金制度について資料に基づき説明】

会 長 続いて、地域協議会とこれからの地域活動について事務局より説明願います。

熊谷考査員 【地域協議会と地域活動について資料に基づき説明】

会 長 仙北地域のコミュニティ会議の立ち上げに対して意見を聞きたいということですが、今決めるということですか。

熊谷考査員 今回お話したのは、仙北地域としては、コミュニティ会議を組織しなくても地域協議会でやっていけると言うことであれば問題ないわけですが、新たに組織を立ち上げ広く意見を求めたいと言うことからのものですので、その点について、地域協議会の意見を伺いたいと言うことです。

会 長 それでは、今の話しに基づき意見を交換したいと思います。地域の団体とか、ボランティア団体などから提案されたことに対してこの、地域協議会で検討し協議すると言うようなことで良いのか、あるいは、地域協議会で今まで通り行っていくのか、どのようにしたらよいのかと言うことのようにです。

池田委員 何も無い場合は地域協議会で意見を集約して市長に意見を述べるでいいわけですが、市の方の考え方として、この様な考え方だとすれば、仙北地域だけ別にするとすることはとれないと思いますので、市の方でそのような方針であれば、事務局は大変難儀だと思いますけれども組織づくりをしていかなければならないのではないかと思います。

進藤委員 するか、しないかをこの場で結論を出せということですか。

会 長 結論と言うよりも、意見を出してくださいと言うことです。

コミュニティ会議を立ち上げるのは行政が主導で行うということですか。

熊谷考査員

説明の中で、自治会組織をもって組織するというような説明をいたしたわけですが、仙北地域には自治会組織が各部落に組織されておりますので、全く新しいところから組織づくりをするよりも、よろしいのではないかとということでお話したものですので、又地域枠予算も関わってきますので、自治会の人たちが一番地域を解っているだろうということでお話したものです。私どもも、初めてのことばかりで、手探りの状態で進めている状態ですので、つくる方向で検討したいと思っておりますので、お互いに勉強しながら進めていきたと考えています。

会 長

そうすれば、池田委員が言ったような形になるのが一番スムーズだと思いますし、今、考査員から話があつたように、自治会で組織するのもいいのではと考えますがいかがでしょう。

進藤委員

地方分権と言われて久しいわけで、この頃は地域分権という言葉もでてきた。つまり今日協議した地域枠関係の予算、地域の考えなり発想なりを拡大していけば素晴らしい地域分権がでてくるのではないかと思います。われわれ18人の委員だけでは、地域の要望なり提案なりを把握するのは難しいと思います。組織を作った方がよりよいのではと思います。

会 長

有り難うございました。ほかにありませんか。

佐々木委員

私は、この地域協議会というものに何の会議なのか疑問をもっていました。末端からの意見がなければ地域協議会はなにもならないと感じていました。

会 長

貴重な意見ありがとうございました。ほかにありますか。

茂木委員

意見でたようですので、あとは絞ることができると思うが、絞らなくてもいいのですか。

熊谷考査員

皆様方が良いとするならば、その方向で事務を進めて参りたいと考えております。

会 長

組織の立ち上げには、皆さん賛成のようですけれど、それによろしければその方向で、また反対の方がいれば、ご意見を聞きたいと思います。

千葉委員

ちょうど18年度の第1回目の会議が、17年度の2回目の協議会の内容と同じなんです。私は部落会長を兼務してやってきましたので仙北地域は自治会の連合会という組織はありませんでした。議会議員まかせではだめだと言うことで、1年ぶりにこのようなことが出てきたと感じています。自治会、ボランティア団体、各種団体をどのように結合させるかが一番の問題だと思います。

会 長

私たちとしては、今でた内容を協議する位置づけでいいということですか。よろしいですか。

熊谷考査員

お話しの方向で組織作りを検討して参りたいと思いますので宜しく願います。それからお願いでございますけれど今後、地域づくりについて、何回かの講演会や勉強会を開催いたしたいと考えておりますのでよろしく願います。

会 長

他にありませんか。

高橋地域振興課長

先ほど、地域枠について、事業の実施時期の関係でお叱りを受けたわけですけれども、去年の10月から地域枠について、皆さんにご相談しながら進めてきましたが、要綱等がなかなか決まらない状態できてしまいました。本庁の方でも4月28日に支所の地域振興課の職員を集めて地域枠について説明を行ったわけですけれども、そのときも地域枠の運用つきましてかなりゆれまして、結果としこの時期になったと言うことで、事業の中には季節もあるとおもいますがご理解をいただきたい。

地域のことで、地域の活性化のためには、まず1年地域枠を入れて皆さん活動して頂きたいと言うことでこの様な結果になったことをお詫びいたしたいと思います。

地域協議会についても、千葉委員から話がありましたが、私も常に考えている訳ですけれども、自治区と言うことを設置したことについては、人口が10万人程度ですけれども、東京都と区と同じような地域ですので皆さんも、その中の委員であると言うことをご理解頂きたいと思います。そして他に自治会の組織を作って、そこから地域課題を出していただき、地域ではまだ意識していなこともあるかと思っておりますので、本年度、地域枠で地域づくりについての研修などをしていただき協議会への提案をしていただく。また皆様の持ち寄り課題も

だして頂きたいと思います。地域協議会が活発になると議会がいらないのではないかと懸念していると言う話もありますが、それらぐい活発になっていただければと考えておりますので、宜しくお願い致します。

会 長

有り難うございました。大分時間もたちましたが、ほかに何かありませんか。

池田委員

時間になってしまいましたけれども、私の独り言とひとつと、チョットだけ質問いたしたいと思います。
独り言というのは、前回市長さんがこられて、私たちの要望事項について、話し合いをしたわけでありますけれども、私の勘違いかもしれませんが、体育館の建設につきましては、関係する人達と再検討、協議をしてみたいと言うような話をうけたまわったように思っております。前回に配られた広報には、あれを読みますと、市長は規模が小さくなると、このようなかたちで他の地域も了解をいただいているので、ここの地域も同様をお願いしたということで、委員の人達が了解したようなかたちに受け取りましたけれども、再検討してみると言うようなことを市長が言われたと思っておりますので、全然再検討もしないで、ここでも何もなくて決まるかと言うことになると、市長に対して言っても意味がないのではないかと感じましたので、他の人はどうか解りませんが私はそのように感じました。
それから、河川清掃いままでやっておりましたが、今年は計画があるものか伺いたしたいと思います。

会 長

建設課長

佐藤建設課長

河川清掃については大変に御難儀をかけております。監査委員より指摘をうけまして、ボランティアの域を超えていると言うことをいわれました、どうしてかと言いますと、参加された方々が高齢者であると、機械を使っではムリになってきているのではないかとわれまし、一つは市の補助金よりも、本来であると県が管理しなければならないものを市がでやると言うことは、これを見直した方がいいのではないかと言うことです。今後については皆様方とご相談をしながら進めてまいりたいと考えていますが、今年度は従来通りの予算を頂いております、6月24日の土曜日5時から7時までの期間をお願いして河川清掃を行うことに決まりましたので、宜しくお願い致しますと思っております。広報では流しておりますし、チラシを毎戸に配布したいと思っております。

会 長

有り難うございます。大分長時間になりましたので、ここで閉じたいと思います。皆さんよろしいですね。それでは第1回地域協議会を終わります、長時間大変有り難う御座いました。

【9時30分閉会】

この会議録の記載が真正であることを保証するためここに署名する。

仙北地域協議会署名委員

仙北地域協議会署名委員
